令和8年度 第2次募集 選抜·評価方法 学校番号 303

習志野市立習志野高等学校 全日制の課程 普通科

1 選抜資料

(1)	調査書	中学校の校長から送付された調査書	
(2)	面接	評価者 2 名の個別面接 検査時間:1 名 4 分程度	
(3)	作文	字数:400字以上500字以内 検査時間:50分	

2 評価項目及び評価基準

(1) 調査書〔135点満点〕

評価項目 評価基準		評価基準
		各教科の評定の全学年の合計値で評価する。
ア	教科の学習の記録	評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
		備考欄に検討を要する記載がある場合は、審議の対象とする。
1	特別活動の記録	学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動及びその他の活動で特に優れ
	部活動等の記録	た内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考と
	特記事項	する。また、検討を要する記載がある場合は、審議の対象とする。

(2) 面接〔60点満点〕

2名の評価者が次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a(優れている)・b(標準的である)・c(問題がある)の3段階で評価する。

2名の評価者による、評価項目ごとの評価の組合せ(aa~cc)で得点化する。cc 評価の組合せがある場合は、審議の対象とする。

評価項目		評価基準	
7	高校生活への意欲	高校生活に対する目標・意識が明確である。	
		高校生活(学習・部活動等)に意欲的に取り組もうとしている。	
	イ 質問に対する応答	質問内容を的確に理解し、分かりやすく適切に回答することができる。	
イ		中学校時代に努力したこと等について、明確に回答することができる。	
		将来の進路希望等について、具体的に回答することができる。	
д	身だしなみ・態度	服装・頭髪等身だしなみが整えられている。	
9		基本的な面接作法が身に付いている。	

(3) 作文〔60点満点〕

2名の評価者が次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a(優れている)・b(標準的である)・c(問題がある)の3段階で評価する。

2名の評価者による、評価項目ごとの評価の組合せ(aa~cc)で得点化する。cc 評価の組合せがある場合は、審議の対象とする。

評価項目評価基準ア 内容・全体構成与えられたテーマに対して内容が適切である。 全体としてのまとまりがある。		評価基準	
	イ 字数・文章表現	指定された字数に対して過不足がない。 誤字や脱字がない。文法を正しく用いている。	

3 選抜方法

「調査書の得点」、「面接の得点」及び「作文の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、原則として、第2次募集の募集人員までを入学許可候補者とする。

<総得点の満点の内訳>

調査書の得点	面接の得点	作文の得点	総得点
評定	田1女071寺点	下人の行所	松叶子/六
135点	60点	60点	255点

4 その他

過年度卒業者については、検査終了後、別途個人面談を行う。

令和8年度 第2次募集 選抜・評価方法 学校番号 303

習志野市立習志野高等学校 全日制の課程 商業科

1 選抜資料

(1)	調査書	中学校の校長から送付された調査書	
(2)	面接	評価者 2 名の個別面接 検査時間:1 名 4 分程度	
(3)	作文	字数:400字以上500字以内 検査時間:50分	

2 評価項目及び評価基準

(1) 調査書〔135点満点〕

評価項目 評価基準				
		各教科の評定の全学年の合計値で評価する。		
ア	教科の学習の記録	評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。		
		備考欄に検討を要する記載がある場合は、審議の対象とする。		
イ	特別活動の記録	学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動及びその他の活動で特に優れ		
	部活動等の記録	た内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考と		
特記事項する。また、検討を要する記載がある場合は、		する。また、検討を要する記載がある場合は、審議の対象とする。		

(2) 面接〔60点満点〕

2名の評価者が次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a(優れている)・b(標準的である)・c(問題がある)の3段階で評価する。

2名の評価者による、評価項目ごとの評価の組合せ(aa~cc)で得点化する。cc 評価の組合せがある場合は、審議の対象とする。

評価項目		評価基準	
ア	高校生活への意欲	高校生活に対する目標・意識が明確である。 高校生活(学習・部活動等)に意欲的に取り組もうとしている。	
イ	質問に対する応答	質問内容を的確に理解し、分かりやすく適切に回答することができる。 中学校時代に努力したこと等について、明確に回答することができる。 将来の進路希望等について、具体的に回答することができる。	
ウ	身だしなみ・態度	服装・頭髪等身だしなみが整えられている。 基本的な面接作法が身に付いている。	

(3) 作文〔60点満点〕

2名の評価者が次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a(優れている)・b(標準的である)・c(問題がある)の3段階で評価する。

2名の評価者による、評価項目ごとの評価の組合せ(aa~cc)で得点化する。cc 評価の組合せがある場合は、審議の対象とする。

_		
	評価項目	評価基準
ア 内容・全体構成 与えられたテーマに対して内容が適切である。 全体としてのまとまりがある。		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
イ 字数・文音表現 *********************************		指定された字数に対して過不足がない。 誤字や脱字がない。文法を正しく用いている。

3 選抜方法

「調査書の得点」、「面接の得点」及び「作文の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、原則として、第2次募集の募集人員までを入学許可候補者とする。

<総得点の満点の内訳>

調査書の得点	面接の得点	作文の得点	総得点
評定	田1女071寺点	下文の行点	松叶子木
135点	60点	60点	255点

4 その他

過年度卒業者については、検査終了後、別途個人面談を行う。